

お茶席

伝統的な日本の茶道には多くの複雑なステップが含まれている。小さな火を灯し、お湯でお茶をたて、提供し、飲むという過程全体を網羅している。彦根城博物館の茶道体験には、茶道の最も楽しい部分（すなわち、お茶を飲むこと！）だけが含まれている。茶道のように、抹茶には伝統的な和菓子が添えられている。茶道体験に参加するときは、次の手順に従う。

- 1.最初に、抹茶の苦味に味覚を慣らすための和菓子がのった小さな皿を受け取る。
和菓子は一口で食べるのではなく、提供された菓子楊枝で口に入れるのに無理のないサイズに小さく切って、少しずついただく。
- 2.給仕の人が、抹茶の入ったお茶碗を持ってきて、茶碗の装飾的な特徴がある正面をあなたに向けて出す。
- 3 慌てないで両手でお茶碗を取り上げ、右手で保持しながら、左手の手のひらにゆっくりとお茶碗を置く。
- 4.茶碗を自分の目の高さのすぐ下で持つ。
- 5.茶碗の側面を右手で丸く持ち、茶碗の図柄があなたから離れる方向に向くまで茶碗をゆっくりと時計方向に回す（左手のひらに乗せたままで）。
- 6.ゆっくりと数回小口でお茶を飲む。
7. 5 に戻り、茶碗を正面の図柄が自分の方を向くまで時計方向に回す。
8. 一旦止まって茶碗の図柄を鑑賞する。
- 9.茶碗を静かにテーブルに戻す。

小さなお辞儀をして、スタッフにあなたが終了したことを知らせ、感謝の気持ちを伝える。